



交流系ハイキングマップ

歴史と緑の小笠山

歩いて、知って、味わって

— ルールを守りましょう。

小笠山は低山ですが、地形は複雑で尾根や谷が入り組んでいます。切り立った崖も多く、事故につながる危険箇所もあります。入山は自己責任で、足元に注意し、安全第一で歩きましょう。

ハイキングコースは、国有林・財産区有林・民有林の中にあります。所有者に迷惑をかけないようにしましょう。ゴミは、全て持ち帰りましょう。

車は、駐車場に置きましょう。農道・農地への進入・駐車は、やめましょう。

動植物には、愛情をもって接しましょう。



準備したいもの

- 小笠山ハイキングマップ リュックサック
- スマートフォン（地図アプリ、ヤマレコ等を入れておくと便利です）
- 食べ物 水筒（ペットボトル飲料） タオル ティッシュ
- ゴミ袋 行動食（歩きながら手軽に食べられる食べ物）
- 雨具 防寒具 帽子 ヘッドライト

【おすすめの服装】

- 帽子 ■長袖シャツ・上着 ■インナーシャツ
- パンツ（ジーンズでも可） ■運動靴（スニーカー ok）

あると便利・安心なもの

- トレッキングポール（登山用杖） レジャーシート
- 日焼け止め ホイッスル モバイルバッテリー
- 救急セット 虫除けスプレー



作成日：2023年（令和5年）8月吉日

作成・発行：徳川家康に関わるまちづくり活動情報交換会

大須賀地区（第一、第二、第三、大淵）まちづくり協議会

大東地区（土方、中、大坂）まちづくり協議会

掛川市観光交流課、生涯学習協働推進課、広報・シティプロモーション課

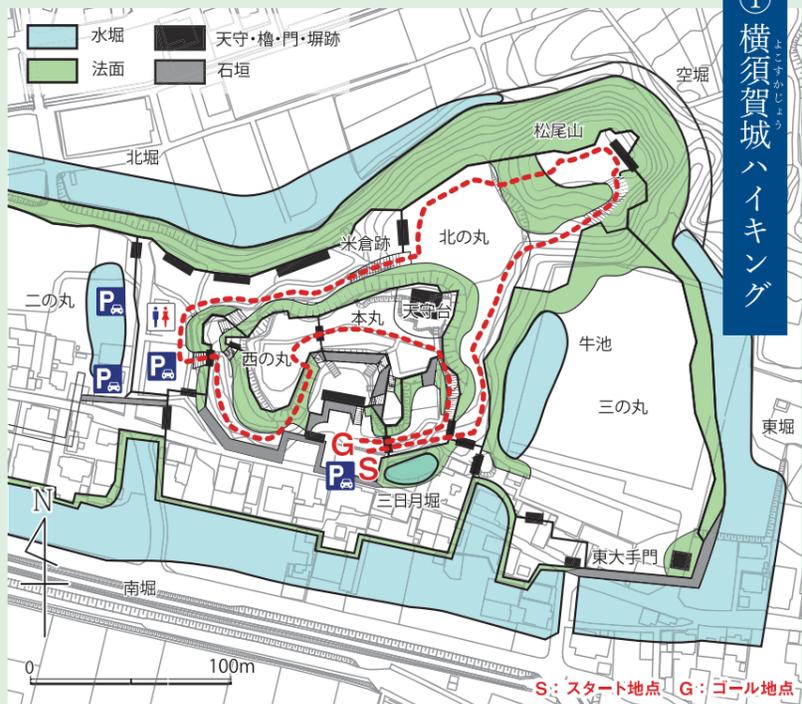
文化・スポーツ振興課、DX推進課

協力：小笠山を愛する協議会／子丑山歩会／大須賀地区子ども育成支援協議会

出典・引用：国土地理院地図

横須賀城ハイキング MAP

① 横須賀城ハイキング



（搦手門）が撰要寺に、「町番所」が市役所大須賀支所北側に移築され現存しています。

（ルート）

横須賀城駐車場↓本丸下石垣↓北の丸跡↓松尾山↓米倉跡↓西の丸跡↓天守台跡↓駐車場
全体が公園になっているので自由にまわってみるのもよいでしょう。約一時間のコースです。



本丸跡に立つ石碑

横須賀城

一五七四年（天正二年）から一五八〇年（天正八年）頃、徳川家康が大須賀康高に命じて築いた城です。戦国時代から明治維新で廃城となるまでの二八〇有余年、二〇代の城主を数えました。一九八一年（昭和五六年）、国の史跡に指定されました。現在は石垣、堀、土塁などが残り、横須賀城址公園として整備され、春の桜を始め四季を通じて散策などの憩いの場となっています。

横須賀城の特徴の一つは「玉石垣」です。小笠山系の玉石で積まれましたが、復元された現在の石垣は城内や大須賀地区、大井川から採取された玉石を使っています。石の色が違うのでわかります。天守は外観四重、穴倉を入れると五階建ての天守だったようです。二〇二〇年（令和二年）頃、当時の天守閣図が発見されました。「不開門



他城には見られない横須賀城石垣



城下町をゆっくり歩く



天守台周りには桜、米倉跡には梅園



横須賀城本丸全景

■高天神城ハイキング

② 高天神城ハイキング



横田甚五郎の抜け道 (犬戻り・猿戻り)

戻り」と呼ばれる両側が急斜面の尾根道があり、やがて楞巖寺山に到着します。機敏な犬や猿ですら行きかけて戻ってきまうと言われるほど険しさがある尾根道です。十分注意し、慎重に歩きましょう。

〔ルート〕
 搦手門 (追手門) 駐車場 ↓ 本丸跡・三の丸跡 ↓ 高天神社 ↓ 駐車場
 〔所要時間〕 約一時間三〇分
 搦手門側：駐車場、トイレ、登山道などが整備されています。
 追手門側：頂上までが近く、比較的楽に登れます。



本丸の食い違い虎口



オオシラスナガイ化石 (高天神城址近くの地層)

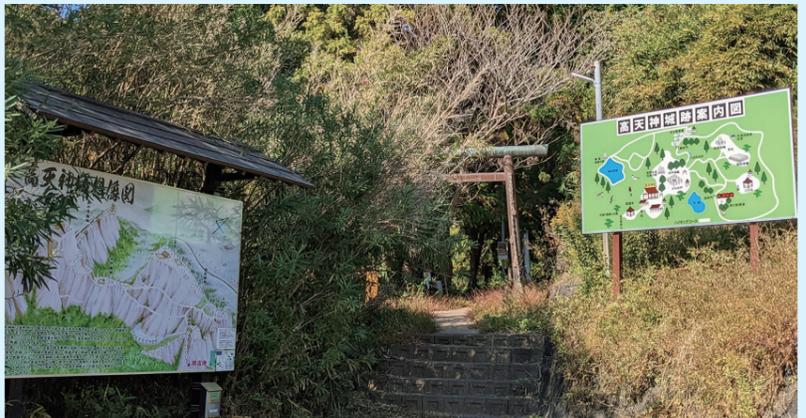


高天神城搦手門 (北口)

高天神城とは
 「高天神を制するものは遠州を制する」：高天神城は戦国時代に徳川・武田の両雄が攻防戦を繰り返した山城です。地形を巧みに活かした高天神城は「難攻不落の名城」と呼ばれていましたが、徳川家康が武田氏から奪還すると間もなく廃城となりました。

高天神城の遺構
 高天神城に登るには北側 (搦手門)、南側 (追手門) の二コースがあります。
 本丸跡、二の丸跡、三の丸跡、大河内石窟など戦国時代を偲ぶことができます。西峰には敵の侵入を防ぐための堀切や横堀が随所に見られます。

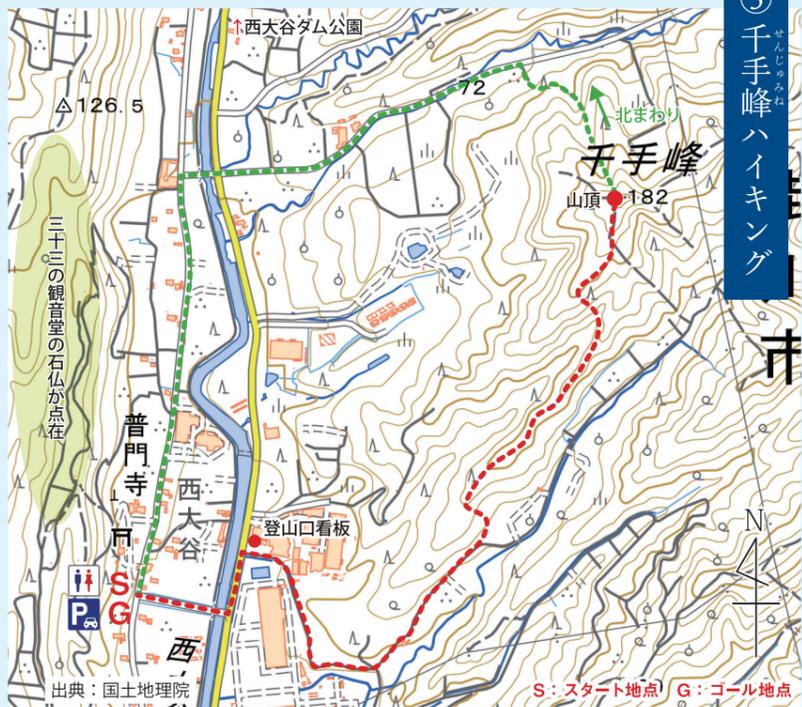
楞巖寺山へ通じる道
 高天神社への石段を上がって馬場平へ進むと視界が開け、遠州灘が望めます。さらに進むと「甚五郎の抜け道 (別名・犬戻り・猿戻り)」



高天神城追手門 (南口)

千手峰ハイキング

③ 千手峰ハイキング



西大谷西国三十三番観音堂めぐり

〔ルート〕
 普門寺駐車場↓千手峰登山口看板↓千手峰頂上↓普門寺駐車場
 (北まわりで一周も可)
 〔所要時間〕約一時間三〇分

れ日が優しい木立の中に点在しています。足を伸ばせば、西大谷ダム公園を回るコースも楽しめます。四季折々の美しい自然を満喫できます。



千手峰からの眺望



西大谷ダム公園 ぐるっと遊歩道を廻って



緑の中を千手峰へ

千手峰
 普門寺駐車場から東に向かい、西大谷川を渡って北へ一〇〇m程進むと「千手峰登山口」があります。そこから案内の印に沿って歩くと一時間ほどで千手峰頂上に到着です。東に富士山、南に遠州灘、西に湖西連峰が一望できます。

〔二五八〇年(天正八年)三月五日、徳川家康は普門寺の二僧の案内で千手峰↓秋原峠↓楞嚴寺山を登り、高天神城を眼下に監視した。〕と文献にも残っている歴史ある山です。また、古文書によれば千手峰山頂付近には普門寺のお堂が建てられたと伝えられ、現在も遺構らしき跡が見えます。

西大谷西国三十三番観音堂
 一七九七年(寛政九年)小野治郎八、清水八十郎が町内や近在に呼びかけてお堂を建てました。三十三の観音堂の石仏が、普門寺を中心に見晴らしの良い山の上や木漏



704年文武天皇の勅令による創建の普門寺

■ 楞巖寺山ハイキング



東大谷ダム沿いの登山口標識

分下ると林道に出ます。約一五分で東大谷公会堂前に着きます。
 (ルート)
 東大谷公会堂↓東大谷ダム↓萩原峠口↓尾根道↓楞巖寺山山頂↓
 東大谷登山口↓東大谷公会堂
 (所要時間) 約一時間四五分



④ 楞巖寺山ハイキング



頂上から見える富士山

楞巖寺山
 徳川家康が高天神城攻略のために、一五八〇年(天正八年)三月五日に登ったと言われる標高二二〇mの山です。東大谷公会堂前を出発し、東大谷ダムに向かって歩きます。案内板に従い山道に入り少し進むと「萩原峠口」があります。檜林の林道を進むとウバメガシの茂る尾根道に出ます。尾根道を約二〇分進むと山頂に着きます。
 山頂からは、牧之原台地・身延山地の上に裾野を広げた雄大な富士山(九七km先)を眺めることができます。山頂には、一等三角点、菱形基線測点、天体観測の方位標が設置されています。
 頂上付近からは、アクトタワーや遠州灘、天竜川河口(二一km先)の風車後方右側には渥美半島の大山(八〇km先)、風車奥には条件がよければ伊勢の七洞岳(一四三km先)等が望めます。なだらかな尾根道を約二五



ウバメガシの美しい尾根道



頂上にある菱形基線測点



東大谷公会堂前(トイレあり)

■小笠神社・小笠池ハイキング



小笠山頂上 264.8m

小笠池

植栽されたモミジやサクラがあり、四季折々の景色が楽しめます。浮き橋からは三六〇度緑に囲まれた景色を味わって下さい。トンネルがあるので懐中電灯を持参しましょう。一周約三〇分のコースです。

- 2つのハイキングコースがあります。
- ①小笠山登山口↓小笠神社↓小笠山岩↓小笠山山頂↓六枚屏風↓小笠山登山口
〔所要時間〕約二時間
 - ②小笠池周遊 約三〇分のコースです。



正月の小笠神社



秘境 六枚屏風 (外側：緑の中に黒い縦線)



秘境 六枚屏風 (内側：そそり立つ石壁)



出典：国土地理院

⑤ 小笠神社・小笠池ハイキング

小笠神社・六枚屏風

小笠神社は、七〇一〜七〇四(大宝年間)頃に創建されたとされている古い神社です。

小笠神社の下に駐車場があります。鳥居をくぐって一〇分ほどで小笠神社に着きます。近くには六砦の一つ「小笠山砦」があります。また標高二六四mの「小笠山山頂」もあります。

六枚屏風は長い年月をかけて山が削られ作られた自然の造形です。幅一m・高さ十数m・奥行き数十mのそそり立つ両壁はまさに折り重なる巨大屏風です。

六枚屏風へ行くには、小笠山山頂から北に向かうコースの途中で右折します。案内看板が目印です。滑りやすく転落事故の危険性もあるため、十分注意して歩きましょう。地面に手をついた時の保護やロープを使用するための滑り止めのある手袋をはめて歩くことを勧めます。



小笠神社付近から見た富士山

■三井山砦ハイキング

⑦ 三井山砦ハイキング



出典：国土地理院

S: スタート地点 G: ゴール地点



【サクラの名所】大浜公園頂上のトイレと東屋

二つのハイキングコースがあります。
 ① 貞永寺前↓大浜公園頂上の東屋↓陸橋↓三井山砦↓太田方面↓貞永寺
 約二・五km、約一時間強のコースです。
 ② 貞永寺前↓三井山砦への陸橋を手前から登る↓陸橋↓三井山砦↓太田方面↓貞永寺
 約一km、約三〇分のコースです。

本堂は、江戸時代前期に造営されたもので、当時の大型の方丈建築の遺構として貴重なことから二〇〇五年（平成一七年）に掛川市指定文化財（建造物）に指定されています。



陸橋手前の登り口



太田（東方）から三井山砦を望む



三井山砦頂上

大浜公園

大浜公園は、一九六四年（昭和三九年）、貞永寺が町民の憩いの場として提供し、町では町制一〇周年記念として大浜公園が整備されました。その際、町民がサクラ七〇〇本、ツツジ五〇〇本を植えました。

一九六八年（昭和四三年）、県立自然公園として指定を受けました。公園には子どもの遊具や休憩所があり、遠州灘から小笠平野一円を見渡すことができます。

三井山砦

高天神城より南へ約三km。ここは小笠山丘陵の最南部にあたります。西・北側は尾根続きになっていますが、東は小笠平野、南は遠州灘を望む地形になっています。「高天神城包囲の六砦」で最も南に位置しています。

貞永寺

一二三二年（貞永元年）、四条天皇により開かれたのが始まりと伝えられています。



貞永寺の全景 北側には駐車場があります。

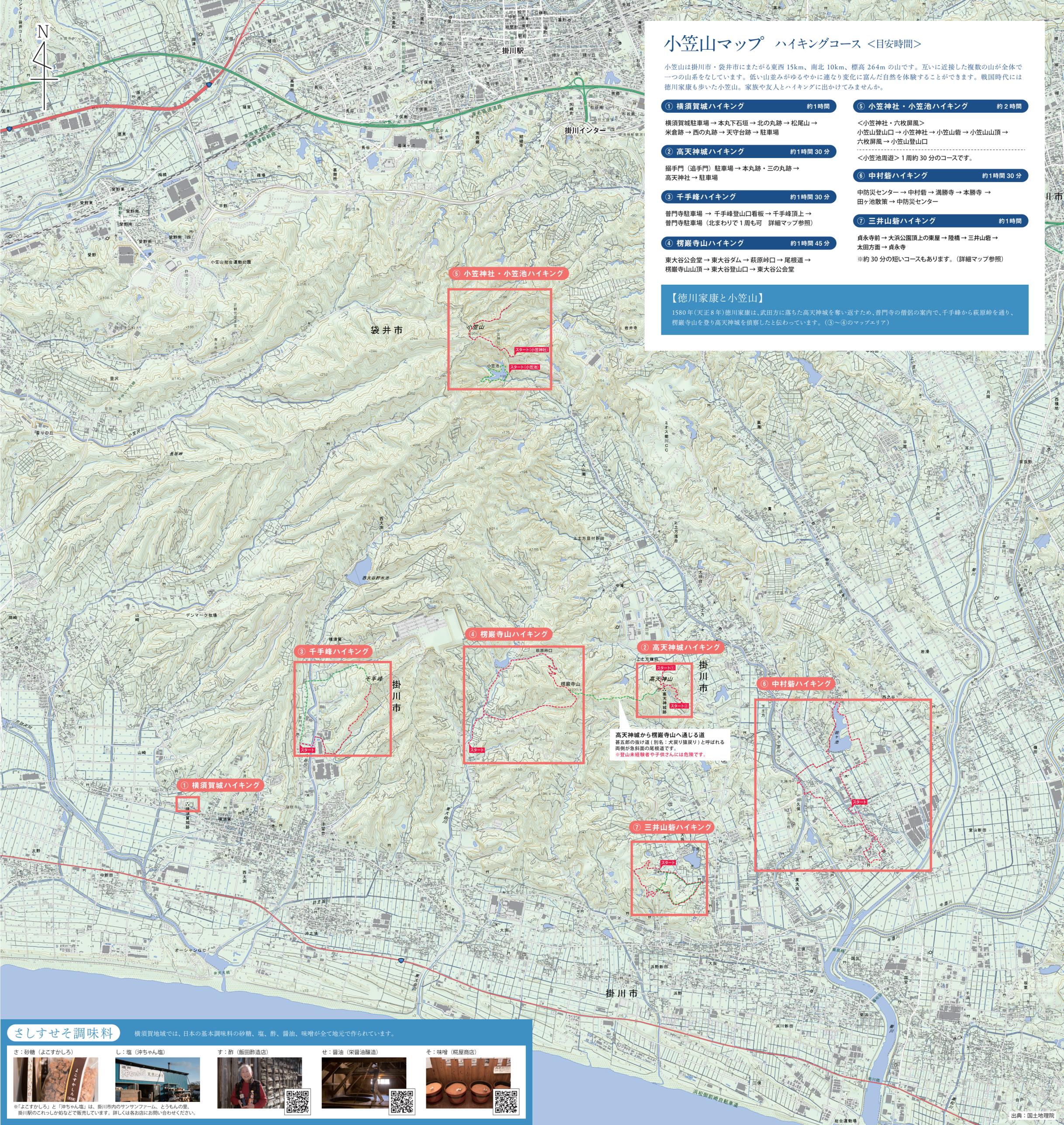
小笠山マップ ハイキングコース <目安時間>

小笠山は掛川市・袋井市にまたがる東西15km、南北10km、標高264mの山です。互いに近接した複数の山が全体で一つの山系をなしています。低い山並みがゆるやかに連なり変化に富んだ自然を体験することができます。戦国時代には徳川家康も歩いた小笠山。家族や友人とハイキングに出かけてみませんか。

- ① 横須賀城ハイキング 約1時間
横須賀城駐車場 → 本丸下石垣 → 北の丸跡 → 松尾山 → 米倉跡 → 西の丸跡 → 天守台跡 → 駐車場
- ② 高天神城ハイキング 約1時間30分
搦手門（追手門）駐車場 → 本丸跡・三の丸跡 → 高天神社 → 駐車場
- ③ 千手峰ハイキング 約1時間30分
普門寺駐車場 → 千手峰登山口看板 → 千手峰頂上 → 普門寺駐車場（北まわりで1周も可 詳細マップ参照）
- ④ 楞巖寺山ハイキング 約1時間45分
東大谷公会堂 → 東大谷ダム → 萩原峠口 → 尾根道 → 楞巖寺山頂 → 東大谷登山口 → 東大谷公会堂
- ⑤ 小笠神社・小笠池ハイキング 約2時間
<小笠神社・六枚屏風>
小笠山登山口 → 小笠神社 → 小笠山岩 → 小笠山山頂 → 六枚屏風 → 小笠山登山口

<小笠池周遊> 1周約30分のコースです。
- ⑥ 中村砦ハイキング 約1時間30分
中防災センター → 中村砦 → 満勝寺 → 本勝寺 → 田ヶ池散策 → 中防災センター
- ⑦ 三井山砦ハイキング 約1時間
貞永寺前 → 大浜公園頂上の東屋 → 陸橋 → 三井山砦 → 太田方面 → 貞永寺
※約30分の短いコースもあります。（詳細マップ参照）

【徳川家康と小笠山】
1580年(天正8年)徳川家康は、武田方に落ちた高天神城を奪い返すため、普門寺の僧侶の案内で、千手峰から萩原峠を通り、楞巖寺山を登り高天神城を偵察したと伝わっています。（③～④のマップエリア）



高天神城から楞巖寺山へ通じる道
普五部の抜け道（別名：大戻り猿戻り）と呼ばれる
両側が急斜面の尾根道です。
※登山未経験者や子供さんには危険です。

さしすせそ調味料

横須賀地域では、日本の基本調味料の砂糖、塩、酢、醤油、味噌が全て地元で作られています。

<p>さ：砂糖（よこすかしろ）</p>	<p>し：塩（沖ちゃん塩）</p>	<p>す：酢（飯田酢造店）</p>	<p>せ：醤油（栄醤油醸造）</p>	<p>そ：味噌（靴屋商店）</p>
---------------------	-------------------	-------------------	--------------------	-------------------

※「よこすかしろ」と「沖ちゃん塩」は、掛川市内のサンサンファーム、とうもんの里、掛川のこれっしか処などで販売しています。詳しくは各お店にお問い合わせください。